

三菱会総会で本校生徒が、国際的取組への支援に対して感謝を伝えました

令和8年9月6日(日)



9月6日(日)に名古屋マリオットアソシアホテルで行われた、本校同窓会である三菱会の総会において、本年度のWWL(ワールド・ワイド・ラーニング)の取組を行っているチーム「羊の子」の生

徒とその担当教員が、普段の取組の説明と支援に対する謝意を伝えました。

当日は、幹事学年である第49回卒業生の方を中心に、その当時の恩師の方や、卒業50年の同窓生の方、本校職員で同窓の方など、多くの方が参会されていました。



まず担当教員から国際探究科の韓国修学旅行、オーストラリア語学研修、タイ・ボランティア活動、タイ姉妹校訪問に対する多大な援助に対して、お礼を伝えました。

会場に掲示された取組の詳細→



その後、3名の生徒から、チーム「羊の子」が現在行っている活動の趣旨説明(1 尾州生地認知度アップ 2 制服の端切れのアップサイクル 3 名古屋市身体障害者福祉連合会の方の報酬アップへの貢献)と、作成しているアップサイクル商品の説明などを行いま



した。

最後は、教頭から参加者の皆様にチーム「羊の子」の活動に対する、支援「応援金」のお願いを行いました。

津島高等学校・附属中学校は、今後もさまざまな学校関係者の方々と協働して、本校の魅力をさらにアップし、外部に発信してまいります。



最後になりますが、今回、第49回卒業生同窓会幹事の森川様を中心とした募金チームの皆様の多大なお力添えのおかげで、WWL 活動の説明機会をいただきましたことに対して、心から感謝申し上げます。

追伸：「応援金」の結果は、71,500円と5USドルでした。ご協力に心から感謝申し上げます。

津島高等学校全日制教頭 金澤 学